

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市芦の口児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘
3	指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日まで
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》21,612人（前年度比 96.9%） 平成30年度 22,289人 平成29年度 21,660人 平成28年度 19,630人</p> <p>《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》 （ ）は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 30,153千円 （ 29,581千円 ） ・ その他市が負担した費用 0千円 （ 0千円 ） <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 0千円 （ 0千円 ） ・ その他収入 0千円 （ 0千円 ）
6	利用者の声	<p>《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。</p>

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	小学生向けの活動では、高学年を対象にこどもスタッフを募集し、「館まつり」等の企画運営を支援している。子どもスタッフとしての活動を通して、自主性やボランティア精神を育てている。 児童クラブにおいては、一人一人の要求を大切に、職員の配置や遊びなどを工夫している。保護者会と協力して「茶話会」や「夏のレクリエーション大会」等を開催するなど、保護者が学び交流する場も積極的に設けている。学校とも密に連携が図られており、日常的に情報を共有している。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（ 特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘 ）による自己評価》
<p>■ 児童健全育成事業 ■ 地域の子どもや子育て中の親が集い、子どもを見守る場所として定着しているように思います。小学生を対象とした「こま侍とあそぼう」や「すずめ踊り、和太鼓のワークショップ」などの文化活動のほか、4年生以上を対象とした「こどもスタッフ」では、「こどもスタッフカフェ」や「カンパニー&ショップ」などの企画や館行事の手伝いを通して活躍できる場を設けています。中高生の将来の職業選択につながることを期待し、積極的に職場体験を受け入れているほか、職員への悩み相談や安心して過ごすことができる居場所として迎え入れられるよう配慮しています。</p> <p>■ 子育て家庭支援事業 ■ 助産師さんが母親の育児相談を個別で受ける「ことり一む」では、母親達に対して、乳幼児の発育に必要なことは十分に愛された実感と遊びこむことだと励ましてきました。また、月に1回の「ほっとサロン」は好評で子育ての仲間の輪が広がっています。</p> <p>■ 地域交流推進事業 ■ 「子育て支援クラブあしっこ」は、館行事への協力や支援クラブ主催行事について、子育てを終えた会員と子育て中の会員が和気あいあいと話合いながら準備を進めています。また、月1回当館で練習を行っている親子のグループ和太鼓「天地芦鼓連」とすずめ踊り「おだづもっこ Jr」では、地域の親子のためのワークショップを行いました。</p> <p>■ 放課後児童健全育成事業 ■ 児童クラブに登録する児童が年々多くなっている中でスペースの確保と使い方の工夫が大きな課題となっています。日々職員は、子どもたちがストレスなく過ごし、育ちあうことができるよう一人ひとりに丁寧に向き合うことを心がけ、「人に優しくみんなが笑顔」になれる運営を今後も続けていきたいと考えています。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>子育て家庭支援事業では、職員が手作りしたおやつを食べながら気軽に子育ての楽しさや悩みなどを打ち明け合う「ホットサロン」が、乳幼児を抱える保護者の交流の場として好評である。毎月定例で取り組んでいる育児相談の「ことり一む」は、民生委員児童委員が子どもを見守り、個室を用意して助産師が保護者の相談を受けるなど、母親が安心して相談できる環境づくりに努めている点が評価できる。</p> <p>小学生向けの事業では、以前児童クラブを利用していた小学生や中高生、それより上の年代の方々までもが日常的に遊びに来たり、行事のボランティアに参加したりするなど、児童クラブの利用を終えた後も児童館とのつながりが続いている。これまでの児童館運営の中で、子ども達一人ひとりとつながりを大切に、丁寧な支援を積み重ねてきたことの結果であり、児童館が地域における子ども達の拠り所として強く根付いている。</p> <p>地域交流推進事業では、昨年度から児童館を拠点に活動している和太鼓グループ「天地芦鼓連」による「和太鼓体験教室」や「おだづもっこ Jr」による「すずめ踊り」のワークショップを開催し、地域の保護者や子ども達の交流を広げるとともに、文化活動を通して表現力や創造力を育んだ。また、子育て支援クラブと共催している「流しそうめん」や「冬のお楽しみ会」、「もちつき会」は、竹の準備やもちつきの手伝い、中学生の琴の演奏など地域の方々得意分野を活かして多数参加しており、子育て家庭支援のみならず、地域の方々児童館運営に参画する良い機会にもなった。</p>	S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課